

事業を紹介します

「健康でいきいきと暮らせる長寿の社会」

●介護サービス利用料助成 300万円

現行サービスからのスムーズな移行と介護サービス利用率向上を図るため、ホームヘルプサービスなど市民税非課税世帯の介護利用者に国制度の7%軽減に上乗せして、利用料負担を3年間軽減します。

●ウェルネスアクションつる事業 41万円

市民参画の健康なまちづくりの実践を目指した「健康のまち行動計画」を策定し、今後の健康事業の展開を図ります。

●生活習慣病予防教室事業 219万円

生活習慣病総合検診事後指導を中心に、自らの健康管理の習得を目的とした各種予防教室を開催します。

●重度身体障害者移送サービス事業 578万6千円

移送困難な重度身体障害者の方などの通院や社会参加を支援するための移送サービス事業。

●重度身体障害者デイサービス事業 225万円

重度身体障害者の方に、デイサービスや訪問入浴サービスを行います。

●介護予防・生活支援事業 1,650万9千円

要介護に該当しない高齢者に対し、要介護状態への悪化予防と生活支援を目的として、ホームヘルパーの派遣やデイサービスを提供します。

●児童手当支給拡大 3,892万円

国の制度改正にあわせ、支給対象を3歳未満児までから、未就学児に引き上げて支給します。(第一・二子 月額5,000円、第三子 月額10,000円)

●精神障害者小規模作業所助成事業 620万円

いきいきプラザに併設する小規模作業所を利用し、精神障害者の方の自立に必要な授産の場を提供し、自立更正と社会参加を促進させるための精神家族会の事業費を助成します。

●いきいき好齢者活動事業 280万円

家に閉じこもりがちになる高齢者の方に、12年度オープンする温泉施設利用券を配布し、活動機会の提供と老化防止を図ります。

第四次長期総合計画の八つの柱を基本とし、「市民主体のまちづくり」の実現を目指す四つのコンセプトにより、市民参加型・市民提案型のまちづくりを推進します。

- 1 地域創造・市民が主役のまちづくり
- 2 人は地域の宝・子どもたちの笑顔が光るまちづくり
- 3 温故知新・時の重さが実感できるまちづくり
- 4 自立のネットワーク・生きがいを持てるまちづくり

「交流をさかんにするネットワーク」

●インターネットホームページ運営事業

104万6千円

都留市の情報の発信・他市町村などの情報を収集することにより、市政へ反映させるとともに広くサービスの提供を図ります。

●地域イントラネット管理事業 443万2千円

市役所・大学・保健福祉センター・文化会館・南都留合同庁舎を光ファイバーによる高速通信ネットワークで接続し、行政情報・遠隔学習・福祉情報などの即時取得・発信・共有化により事務の効率化・サービスの向上を図ります。

「自己実現を支援する文化・学習・スポーツ」

●谷村第二小学校屋内運動場建設事業 2億5,556万9千円

老朽・狭隘化した谷村第二小学校体育館を建設します。(平成11～12年度継続)

●都留文科大学新図書館建設事業 2,300万円

市民に開かれた大学を目指し、狭隘になった図書館を新たに建設するため、基本設計・地質調査を行います。(平成14～15年度建設)

●都留文科大学・小中学校情報ネットワーク構築事業157万7千円

市内小中学校11校を連携する情報ネットワークを構築し、インターネットなどを利用することにより、都留文科大学を中心とした情報教育の推進を図ります。

●まると博物館つる調査事業 12万1千円

「ミュージアム都留」を中心として市内全域を博物館ととらえ、埋もれている逸品の掘り起こしや、既存の文化財などの標示を統一するなどの調査とロゴマークを募集します。

●子どもマルチメディアプラザ整備事業 4,003万3千円

少子化対策の一環として、文化会館3階に子どもの想像力や向上心を育む児童施設として、情報通信ネットワークを活用したパソコンを中心とする交流プラザを設置します。